



常磐会報

第51号
令和2年12月10日

発行所
福岡県行橋市南大橋4-5-1
京都高等学校常磐会
印刷・デザイン
(株) サラト



目次

ごあいさつ	2
令和2年度常磐会総会を終えて	3
進路概況	4
部活動活動状況	4
恩師からのおたより	5~6
卒業生からのおたより	6~7
定時制近況報告	7
「常磐会報発行協力金」協力者ご芳名	8

敬 訓 策 校
賞 造 知 訓

こんな時代だからこそ絆を大切に



ごあいさつ

常磐会会長 若山直樹
(高校22回生)

会員の皆様には、ますますご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

さて、今年もお待ちかねの常磐会の季節がやってまいりました、と申し上げたいところですが、皆様ご承知のとおり、本年2月、3月頃より日本全国が新型コロナウイルス禍に見舞われ、オンラインイベントをはじめ、地方の様々な、人の集まるイベントはことごとく中止となつてしまいました。今日現在(6月10日)も先の見通せない状況が続いております。年に一度の総会・記念イベントを楽しみにして頂いていた皆様には大変なご心配をおかけしております。

さて、本年度総会実行委員は高校40回・定時27回・高校53回・高校65回卒業の皆様です。昨年総会終了直後から、しっかりと準備を進めてこられました。さあいよいよ本番に向かう今年に入つてのこの奇禍です。渡邊克紀実行委員長はじめ、実行委員の皆様のご苦勞、ご心勞を思うと頭が下がります。感謝に堪えません。実行委員の皆様は決してあきらめることなく、状況の許される範囲内で、

何とか9月の総会・記念イベントを前向きに準備を進めました。

『こんなときこそ、常磐会の伝統と誇りを未来へつなげていきたい。年に一度の常磐会を皆様とともに喜び合いたい。』との思いで必死に頑張り、無事に総会・記念イベントが開催されました。

また、本年度総会の開催にあたり、協賛して頂いた皆様、毎年のご協賛から、このような状況下にもかかわらず、多大なご協力を賜り誠にありがとうございます。皆様のご厚意は本総会の運営、また、現役高校生への援助にと大切に使用させていただきます。

常磐会は、この3月の高校72回生、定時制59回生の入会で、卒業会員総数は3万1千名を超えるまでとなりました。1世紀を超える常磐会の伝統は、その名の通り、永久不変の友情を育むものでありたいと願っています。今後共、皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。最後にありますが、母校京都高校のますますの躍進と、常磐会の更なる発展を祈念して、私のごあいさつと致します。



ごあいさつ

校長 土田秀夫

常磐会におかれましては、若山会長を中心に、日頃から温かく母校を見守って頂きながら、常に学校ファースト、現場ファーストで物心両面からのご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

私自身、今年度も京都高校において教育に携われることを、大変嬉しく思っています。昨年度1年間、私が京都高校で感じた本校の最大の魅力は、毎日全力で勉学に、そして部活動に取り組む素直な生徒達と、ハイレベルな授業力を持ち努力を惜しまない職員です。職員は昨年度、今年度ともに全日制、定時制合わせ20名が常磐会であり、各時代の「京都」を知っており、後輩かつ教え子となる生徒に対して深い愛情で指導しているところです。常磐会でない職員も、私を筆頭に常磐会職員に決って負けていない「京都愛」を持って教育活動にあたっています。実に良い職員の雰囲気、そして生徒と職員との信頼関係も申し分ありません。

昨年度、年度途中ではありましたが、九大10名合格、国公立100名合格を具体的な目標として掲げました。なぜならば、生徒と職員と共に教育活動を行っていくなかで、本校の生徒と職員とならば実現可能だと強く感じたからです。結果は、九大

9名、国公立113名合格という結果でした。九州大学以外にもお茶の水女子大、神戸大、熊大医学部医学科にも合格しており、生徒達は「チーム京都」としてよく頑張り、後に続く後輩達に良い形で襷を繋いでくれたと思っています。京都から難関大へは、常磐会のみならず、地域からの熱い期待であることをこの1年間、色々な場面において、感じてまいりました。「京都から難関大へ」は、「京都の使命」であると

私自身の気持ちは明確になりました。素晴らしい生徒、素晴らしい職員、そして常磐会を含めた素晴らしい環境、後は前に進むだけです。常磐会の皆様方、どうぞ全日制、定時制共に後輩達の勉学、そして部活動での活躍を期待していただきます。

さて、世の中は目に見えない敵、新型コロナウイルスとの戦いが続いています。こんな時だからこそ、「日常」であることの有り難さを再認識し、教育活動を通して生徒と共に「人間力」を養っていきたいと思います。常磐会総会が開かれる頃は、皆が日常であることを喜び合っていることを願っています。結びにあたりまして、常磐会の益々のご隆盛を祈念申し上げます、ご挨拶と致します。

令和2年度 常磐会総会を終えて

令和2年度常磐会総会実行委員長 渡邊 克紀

本年も常磐会に多大なるご支援を賜り心より御礼申し上げます。2020年度常磐会総会実行委員長を務めます渡邊克紀と申します。本年実行委員である、高校40回生、高校53回生、高校65回生、定時制27回生を代表してご挨拶申し上げます。

常磐会は福岡県立京都高等学校及び福岡県立京都高等学校の同窓会であり、母校の発展に寄与すること、会員相互の親睦・懇親を図ることを目的として活動しています。

私たち協力回生は昨年の総会のおり、江本康時先輩率いる昨年度実行委員会より禱を渡され、本日まで各回生と力を合わせ、「総会」「懇親会」「記念イベント」「総会誌発行」に向けた準備活動を行ってまいりました。

具体的には一昨年のゴールデンウィークに行った初めての40回生全体同窓会から活動は始まりま

した。在校生時からあまり優秀ではない自分が実行委員長ということでも不安でしたが、個性豊かな友人達に恵まれ、いろいろな困難にぶつかってもその都度みんなの熱い思いで乗り越えてきました。また高校53回生、高校65回生達という後輩にも恵まれ、禱を受け取ってからは毎月順調に会議を積み重ねて参りました。

しかし、本年1月「変な伝染病が海外で大流行の兆しを見せている」、2月には福岡でも感染者が、3月には行橋市の各公的会場が閉鎖され会議のために集まることも出来なくなり、4月には福岡県でも初めての「緊急事態宣言」が出され、我々の活動も大きな岐路に立たされました。

ここで中止を決断するか、それとも開催できることを信じ、引き続き準備だけを行うか。本当に迷いましたが、そんな中自分を支えてくれたのは、

「私は諦めが悪いんだ!」「こんな時だからこそ楽しいイベントだろう!」と、このような状況にも最後まで前向きに冷静に準備を進めてくれる実行委員会の仲間でした。

そして、若山会長をはじめとする常磐会の先輩方、応援いただいた地域の皆様。そして最後まで私を信じ、支えてくれた実行委員会の仲間たちのおかげで、本年度も無事常磐会総会及び懇親会を開催することが出来ましたこと心より御礼申し上げます。

最後に、これからも常磐会が未永く発展いたしますことを心より祈念いたしまして2020年度実行委員長のご挨拶とさせていただきます。皆様本当にありがとうございました。



総会



実行委員長挨拶



記念事業



実行委員

令和元年度 進路概況

進路指導専任 仲江 聖吾

昨年度の入試について

昨年度の入試では、大学入試センター試験における平均点がダウンした影響や、新入試を警戒し現役合格を意図した、いわゆる安全志向が見られました。前期日程の志願者数は24・3万人であり、例年より1万人以上減少しています。本校においても、浪人して再挑戦する生徒は十数名であり、例年に比べて少なくなっています。

私立大学の入学定員厳格化により、多くの私立大学で難化する傾向がありました。しかし、すでに厳格化も終了し落ち着きを見せています。しかし、一昔前と比較すると、県内の私立大学もずいぶん難化していることに驚かされるのではないのでしょうか。

今年度の入試について

今年度入試の話題は、なんといっても入試の改革でしょう。AO入試

は総合型選抜、推薦入試は学校推薦型選抜、一般人試は一般選抜と名称が変更されます。大学入試センター試験は、大学入学共通テストに変わりますが、昨年度は、この大学入学共通テストにまつわる話題が世間を賑わしました。英語の外部検定試験利用や記述式問題の導入を見送ったことなど、生徒をはじめ、高校の教員、検定試験を行う業者、問題集を発行する出版社など、多くが対応に追われたのではないのでしょうか。

また、今年は新型コロナウイルス感染症による臨時休業による学習の遅れ、運動系の大会の中止、資格試験の中止など、大学入試に与える影響は計り知れません。学習の遅れについては、補充授業、行事の変更や、夏期休業の短縮などで対応しているところですが、次の波が来ないことを祈るばかりです。

最後になりましたが、常磐会におかれましては、日頃より本校教育にご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。今後とも、引き続きご支援いただきますようお願いいたします。

部活動活動状況

主な戦績 *令和元年4月～令和2年3月までの期間での県大会以上

《体育部》

陸上部

- 福岡県高校総体陸上競技対校選手権大会
県大会出場11名 男子8種競技(1名)、男子走高跳(1名)
男子砲丸投げ(1名)
女子7種競技(1名)、女子走幅跳(1名)
女子4×100mリレー(6名)
九州大会出場1名 男子砲丸投げ(1名)
インターハイ出場1名 男子砲丸投げ(1名)
福岡県高校新人陸上競技対抗選手権大会
県大会出場8名 男子砲丸投げ(1名)、男子5000mW(1名)
女子4×100mリレー(6名)
九州大会出場1名 男子砲丸投げ(1名)

バドミントン部

- 福岡県高校総体バドミントン選手権大会
男子団体県大会出場 女子団体県大会出場
福岡県高等学校バドミントン新人大会
男子団体県大会出場

バスケットボール部

- 福岡県高校総体バスケットボール競技大会
男子県大会出場(1回戦)
福岡県高校選抜バスケットボール選手権大会
男子県大会出場(2回戦)

卓球部

- 福岡県高校新人卓球選手権大会 女子個人(1名)県大会出場
福岡県高校全国選抜卓球大会 女子個人(1名)県大会出場

サッカー部

- 福岡県高校総体サッカー競技大会 県大会出場(予選リーグ)

水泳部

- 全九州高等学校選手権新人大会
九州大会出場 女子50m背泳ぎ(1名)、男子50m平泳ぎ(1名)

《文化部》

美術部

- 福岡県高文連美術・工芸部門
県大会出場 平面デザイン部門 奨励賞(1名)

写真部

- 福岡県高等学校総合文化祭写真部門
県入選 佳作(1名)

放送部

- 福岡県高校放送コンテスト大会
県大会出場 朗読部門 入賞(1名)

部員数

令和2年6月11日現在

Table with 4 columns: 部活動名, 男子, 女子, 計. Rows include 1 バレーボール, 2 バスケットボール, 3 野球, 4 テニス, 5 陸上, 6 柔道, 7 剣道, 8 サッカー, 9 バドミントン, 10 バトン, 11 ダンス, 12 水泳, 13 卓球, 14 空手道, 15 レスリング同好会, 16 演劇, 17 華道, 18 琴曲, 19 コーラス, 20 茶道, 21 写真, 22 囲碁・将棋, 23 書道, 24 放送, 25 煎茶, 26 文芸, 27 美術, 28 吹奏楽, 29 料理, 30 英語(ESS), 31 SG, 32 科学同好会.

Summary table with 4 columns: 部活動 合計, 男子, 女子, 計. Rows include 部活動生徒数, 生徒数, 加入率.

令和元年度 国公立大学合格者数(既卒生を含む)

Table with 3 main columns: 国公立, 九州, 熊本. Each column has sub-columns for 大学, 学部, 人数. Lists various universities like 北見工業, 秋田, 千葉, etc.

令和元年度 私立大学合格者数(既卒生を含む)

Table with 3 main columns: 大学名, 人数. Lists private universities like 福岡, 西日本工業, 福岡工業, etc.

上級学校合格状況・就職状況

Table with 4 columns: 令和元年度, 現役, 既卒, 合計. Rows include 国立大学, 公立大学, 私立大学, 文科省管轄外, 公立短大, 私立短大, 各種学校, 事務, 営業, 技能, 公務員.

恩師からの
おたより1

「京都高校への感謝」

40回生 3年3組担任

合屋伸一先生



新型コロナウイルス感染症拡大を受けて出された緊急事態宣言真つ只中の4月この文章を書いています。

「博多どんたく」や「博多祇園山笠」など伝統の祭りも中止、外出の自粛を求められ、3月に始まった学校の臨時休業もいつ終わるのか分からず、先の見えない不安や苛立ちが街中に渦巻いています。

1日も早くこの危機的な状態が収束し、令和2年度京都高等学校常磐会総会を盛大に行うことが出来るようになることを、心から祈願しています。

今年度の当番回生である40回生の皆さんが入学してきた昭和60年4月、私はまだ23歳でした。

伝統に裏打ちされ、躍進の真つ只中にあつた京都高校において、大学を卒業してまだ1年しか経っておらず、どう見ても頼りない私に1年生の担任をさせるといふ判断をしてくださった当時の校長先生や先輩の先生方に対し、改めて感謝いたします。

周りの不安をよそに、私自身は初めて担任として働ける喜びと高揚感をいっばいに感じ、充実した3年間を過ごすことが出来ました。

その後、30歳になり44回生の担任を終えた平成4年、お世話

になつた京都高校を離れ地元の福岡市に戻り、開校して8年目を迎えたばかりの香住丘高校に4年間その後、筑紫丘高校に15年間勤めました。

京都高校での貴重な8年間の経験は、私のキャリアに大きな影響を与えてくれました。

特に数学の指導では、「生徒がどこが分かっていないのかも、分かっていなかった」未熟な私を、守先生をはじめとする先輩の先生方が粘り強く導いてくださったおかげで、その後49歳で教頭になるまで、生徒たちの信頼に応え得る指導を続けることが出来たと思つています。

お世話になつた先生方と温かく受け入れてくれた生徒の皆さんには、心から感謝いたします。

現在58歳となり、母校福岡高校の校長として3年目を迎えています。

少子高齢化の進行と私立高校の台頭により、県立高校の置かれていた状況は年々厳しくなつていますが、目の前にいる生徒たちのことを第一に考え、魅力ある学校づくりを念頭に、最後まで心を込めて丁寧な仕事に向き合い、残り少なくなつた教員人生を締めくくつてまいりたいと考えています。

おまけです！

京都高校と福岡高校は共に戦前に開校し、昭和23年の学制改革で同時に高等学校として再スタートしました。

したがって、高校〇〇回生という数え方をすると、両校とも

恩師からの
おたより2

青春よ 甦れ

40回生 3年1組担任

村上博彦先生



(卒業アルバムより)

常磐会総会おめでとうございます。

当番回生の諸君が高校生だった頃は今から三十二、三年前のことですね。当時の私は今の君たちよりも少し若かつた。君たちと日々勉学に勤むことがとても楽しかつたことを思い出します。君たちの輝かしい未来を語り、青年の可能性を語り、人間として大いに成長されんことを期待し願つたものです。そして君たちは立派に成長してくれました。有難う。

あの頃の君たちは「自分さあしの旅に出発したばかりだった。何のために勉強するのか」「なぜ課外を強制されるべからぬのか」「学校はもつと自由であるべきだ」「俺の学力を偏差値で決めつけるな」「もつともつと自分のしたいことがしたい」「人生とは何か」「人間とは何か」、そんな疑問や屈辱や願望を抱き、悩みながらも受験勉強に追われ続けた日々々々。

私は君たちに夢を語つた。奥君はどんな夢を見ていたの

同じ年齢の人が同じ回生にあたります。

今年度は高校の卒業回と年齢を加えると91となる年なの

か知らないが(知る人ぞ知る。フフフ)。一方で君たちの成績が伸びないことをやかましく叱りつけ、また、進路指導では「君は学力がない」と厳しく批判して君たちを失望させてしまったこともあつた。今ここで私の未熟を後悔してもどうにもならないが、許せるものなら許してもらいたい。私の教員としての至らなさを恥じるほかない。

三十数年の歳月が流れ、君たちは今あの頃の自分の青春を思い出さう。先程も述べたが、あの頃の君たちはまさに「自分さあしの旅」の真只中にいた。それは文化祭で取り組んだ三年一組の製作した映画に如実に表現されていた。たしか塩塚君が主人公で中野君や泉さんが親友として出演していた。主人公は親に反発して家出を試みた。二階の窓から抜け出す塩塚君の姿が私の脳裏に焼きついてる。そして中野君との熱い友情。

青春は素晴らしい。できることならもう一度あの頃に戻りたい。

だが人生は一度しかない。だからこそ面白い。だからこそこの一瞬が愛おしい。

常磐会総会万才!! 第四十回生に幸多かれ!!

で、例えば、京都高校40回生と福岡高校40回生は、(91から40を引いて)ともに今年51歳と計算出来ます。

恩師からの
おたより3

お元気ですか

40回生 3年4組担任

寶崎 智恵美先生



(卒業アルバムより)

京都高校四十回生の皆さん、お元気ですか。そして、新型コロナウイルス感染症拡大の脅威の中、同窓会総会に向けて活動して下さつている当番回生の皆さん、ありがとうございます。無事に総会が開催されますことを願っています。

私にとって京都高校は母校であり、教師になつて三校目の勤務校でした。その京都高校に三十三年間勤務させていただいたことは幸せなことでした。平成二十八年に定年退職をし、現在は退職後五年目を元気で迎えています。

四十回生の皆さんの担任をした頃、私は二十九歳。京都高校に赴任して三年目。一年生から担任をし、卒業するまでの三年間を共に過ごした最初の生徒が四十回生の皆さんでした。

皆さんは入学した頃から元気がよくて、驚かされることばかりの学年でした。それは一年次最初の体験学習です。明らかにになりました。登山の後、疲れているはずなのにすぐに体育館で走り回る驚異のパワー。夏の九重



キャンプでも同様でした。キャンプ場でスイカを食べるのだと言つて、交代で大玉のスイカを運び、食べなかつたからとまた持ち帰るといふ姿にはあきれまじりました。キャンプ場への往復はかなりの距離だったのに。九重では、早朝登山の大船で美しい日の出を一緒に眺めたことも忘れられない思い出です。二年次の修学旅行のスキー教室でも疲れ知らず。私が三十三年間見てきた京都生の中でも最もエネルギーに溢れていたのは、四十回生の皆さんであつたと思います。五十歳を迎えた今の皆さんの毎日はどうですか。人間の生涯の基になるのは、十代の頃の姿勢なのではないかと私は考えています。その人の性格や生き方は長い年月のうちに変わっていくように思われていますが、変わらない何かは十代の頃に形成されている、そう感じ

ています。
毎年正月を迎えると、私は高校時代の同級生とクラス会をします。今では、地元で生活する数人が集まる会になってしまいましたが続けています。六十代になって級友と高校時代のたわいない話をする時、級友の中に変わらない人柄を感じます。外見はみな変わってしまったというのに。だからこそ思うのです。十代の頃のエネルギーが今の自分のどこかに残っていて、ずっと自分を支えていく力ではないかと。

卒業生の皆さんもきっとそうであってほしいと思います。疲れた時、自分自身の高校時代をちよっとふり返って、自分はどう生きたいかと思っていただろうか、今の自分は、まだ何でも実現できる力を持っているんだ、と思い出し

さて、現在の私は、忙しく働いていた頃にはしたくてもできなかったことを一つずつ実行する毎日を通じています。ガーデニング、日々の運動、旅行など。特に、旅行には時間を使っているかもしれませぬ。古典が好きな私が、季節ごとに出かけ、ただ旅をするだけではなく、神社仏閣の歴史を学び、今では検定まで受検するほどのめり込んでいます。千年の都について知れば知るほど魅了され、ライフワークにしたいと考えるほどになりました。

京都高校卒業生の皆さん、それぞれの年代で大変な日々を過ごされていることと思います。身体に気をつけて、充実した人生を築かれていくことをお祈りしています。

卒業生からの
おたより1

京都高校での学生生活は
人生にとって何だったか

高校40回生 3組 村上 智信



京都高校での三年間の学生生活が自分の人生において何であったか、改めて思いを巡らしました。

その当時の思い出としては、厳しい校則、自由の少ない校風に嫌な思いをしたことを覚えています。入学したての頃、全一年生に対して「義務教育ではないから、やる気のない学生は来なくて良い」という話を先生がされて、あまり歓迎されていないのではと感じたことを記憶しています。自分はテニス部に所属しましたが、「部活はほどほどにして、勉強を頑張る様に」という雰囲気でしたし、進学に当たっては「現役で入学する」ことを求められました。

もちろん、友達との楽しい思い出や先生方との温かい触れ合いもありましたが、京都高校全体としての思い出は以上の様に、厳しいものとして自分の記憶に残っています。

その京都高校を卒業して30年以上が経ち、自分の息子の高校進学を考えるタイミングになりました。親として子供に進学して欲しい高校を考え

たとき、「息子が社会に出て困らない様に、厳しめに生活態度まで指導して欲しい」「息子が希望する進学が出来る環境がいい」などの条件が思いつきます。これは、まさに京都高校ではないか！自分の記憶では、嫌な思い出の京都高校だけれど、息子の人生を考えたら、その様な高校に進学させたいと思っている自分に驚きました。

そう、京都高校は厳しい思い出だけで、自分を社会に出られるよう鍛えてくれたのだと気づかされました。

京都高校で、勉強に追われる生活も、自由の少ない校風も、就職して社会に出たら当たり前ですし、就職するまでも自分の人生に役立ちました。高校卒業後は一浪しましたが、の、大学、大学院に進学し、公務員として働くことが出来ました。京都高校での勉強づめの生活が身に染みていたのか、大学でもストイックに勉強に打ち込んだことが、大学院入学試験や公務員試験で役立ちました（京都高校で勉強し過ぎた反動で、大学では遊ぶ同期も多かったのですが）。

以上の通り思いが巡った結論としては、京都高校は自分の人生において、社会の厳しさを教えてくれた貴重な経験であり、社会人として生きていくための訓練の場だったということだと思います。そう思えたときに、京都高校に対して感謝の気持ち湧き起こりました。

卒業生からの
おたより2

これまでの外務省勤務を
振り返って

高校40回生 1組 中野 卯一郎



本年は我々40回生が常磐会担当と伺っていますので、現場でのお手伝いに代えて、遠方から拙文を寄稿させて頂きます。

1988年に京都高校を卒業した後、大学を経て外務省に入省し、以来20数年間、外務省に勤務してきました。大学時代からNGOの一員として国内外の救援活動に携わってきたこと、及び1990年の湾岸戦争を契機に日本の国際貢献のあり方が議論されていた中で、実際に外交の現場で何が起きているのか自分の眼で確かめたいという思いから、この職業を志しました。

過去20数年間の日本と海外（カナダ、米国、タイ、ネパール）での勤務を通じて、人道支援、領事、開発協力、広報文化、組織犯罪対策、国連、G7といった様々な分野の仕事に携わってきました。現在は、査察補佐官として、外務省本省や世界各国にある日本の大使館・総領事館の業務を監査し指導する仕事を行っています。

これまで仕事では様々な出来事を経験しましたが、中でも皆様も憶えておられるよ

うな大きな災害やテロに何故か偶然に遭遇し、その対応に奔走することが多くありました。特に、私自身も被災したため強く記憶に残っているものが二つあります。一つ目は、2011年タイ・バンコクでの勤務中に50年ぶりの大洪水が発生し、多くの日本企業も水没したことです。巨大な洪水エリアが数ヶ月かけて北から南へジワジワと下りてくるという、日本では想像できない不思議な災害でした。当時、私は報道・広報を担当していましたので、メディアへの対応や情報発信に駆け回りました。そして二つ目は、2015年ネパール・カトマンズでの勤務中に80年ぶりの大地震が発生し、約9千人もの犠牲者が出たことです。日本大使館のネパール人職員も亡くなった中で、幸い私や家族は命拾いましたが、日本人の安否確認や緊急援助隊の受け入れ、そしてその後2年間に亘り復興作業に奔走しました。

また、この仕事をしているご褒美だなど思うのは、海外で天皇皇后両陛下や皇族の方々をお迎えし、そのお人柄を間近に垣間見る機会を得たことです。特に、私のカナダ・アルバータ大学大学院での研修中、1999年に秋篠宮殿下がアルバータ州をご訪問された際には、殿下のお供としてカナディアン・ロッキーマウンテン、殿下の気さくなお人柄に大変感銘を受けました。また、2009年に上皇・上皇后両陛下が初めてカナダをご訪問された際にトロンクトでお迎えしたことが、また、2016年に両陛下がフイリピンをご訪問された際、山腹にある戦没者慰霊碑をヘリコプターで訪れる直前まで悪天候だったにもかかわらず、不思議なことに予定時刻になると急に雲がはれて着陸が可能になったことも、大変印象深く思い出されます。

これまでの外務省勤務の中で、京都卒業生の先輩や後輩にお会いしたことは残念ながらありませんが、地元・行橋の企業の方々が海外でお迎えたことはありました。今後、常磐会会員や京都生の一層の活躍、そして故郷の発展を願い、微力ながら力になれることがあれば応援して行きたいと思っています。

グローバル化の進展とともに、日々のニュースでも報じられるとおり、外務省の業務が日本国内の仕事と生活と直接関わる場面が益々増えていきます。これまでの勤務を振り返ってみると、どのような組織や職場でも同じだと思いますが、目の前の仕事に対する思い、そして人と人との繋がりを大切にすることが、良い仕事を残すことに繋がるのだと改めて感じます。これからも、この国と人のことを思いながら職務に取り組んで行きたいと思っています。



卒業生からの
おたより3

20年を振り返る
〜寄稿文を寄せるにあたり53回生代表として〜

高校53回生 1組 右田 篤志



そもそも私はなぜ回生代表を
しているのだろうか。

卒業式の前日、リハーサルの
時間に常磐会入会式が行わ
れていた。

そのとき当時担任の保健体
育科の田中厚範先生からの一
言。「右田、おまえ代表な。」
意味もわからず「はい！」こ
れがスタートでした。

そもそも自分で意図した代
表ではなかったため、総会の
案内や1回目の当番回生は見
て見ぬふり。

時が経ち、中学校教員とし
て14年。現在は行橋中学校に
勤務して7年目となりました。
こんな近くに勤めているとき
すがにいろいろな方面の方々
に見つかります。

こうして今回の当番ではお
手伝いをさせていただく運び
となった次第です。

高校入学当時、中学校では
成績上位(にいたであらうと
思われる)だったにも関わら
ず、高校入学後のテストでは
軒並み星、もしくは星にもな
れない落ちこぼれ。(現在の高

ボールを深く考えさせてくれ
る仲間たちと出会うことがで
きた。

大学では仲間がみんな私を
頼ってくれた。「ノート貸し
て。」「勉強教えて。」大学のチ
ムメイトたちは全国の強豪校
から集められたバレーエリ
トたち。当然勉強して進学な
んてしたことがなかったらし
い。そうして仲間として認め
られ、今でも交流が続いている。
そして、2年生3年生の担
任が保健体育の田中先生で
あったことは、現在の私が保
健体育の教師をしていること
に多大な影響があったことは
言うまでもない。

京都高校での生活が今の私
の原点であり、また目標でも
あると思う。

過去の私へ。またたくさん
送り出している教え子たち、
先輩たちへ伝えたい。
今を全力で楽しみ、全力で
生きろ！人生は出会いだ！

そんな中、常に考え、トレ
ニングを組み立てていく。こ
れは指導者になった今、私の
スタイルとなっています。(顧
問の喜久代先生には大変感謝
しております。)

大学では九州1位という強
豪へ進学。当然レギュラーな
ど程遠いが、ここでもバレー

定時制
近況報告

まず、令和元年度の生徒の進路状
況をご紹介します。令和元年度は、
四年修了生が十五名、三年修了生が
二名、計十七名の生徒が卒業しまし
た。在学中からの仕事を継続してい
る生徒もいますが、新規就職者が三
名、進学者が二名でした。

次に、令和元年度の特徴ある行事・
活動をご紹介します。

九月に行われた生活体験発表北九
州地区大会に本校からは四年生一名、
三年生一名が出場しました。今まで
の経験を発表し、努力賞を受賞しま
した。

文化部関係では、四月に行われた
北九州芸術祭(書道部門)において、
三年生二名が特選、四名が入選とな
りました。また、行橋市人権週間啓
発作品(書道の部)では、四年生が最
優秀賞、二年生が優秀賞と入選とな
りました。高文連書道部門授業作品
展においても四年生一名、三年生四
名が入選しました。

十月には、行橋市民文化祭の開会
行事で書道パフォーマンスを行いま
した。

体育部関係では、高体連定通部北
部ブロック卓球大会に四年生男子が
出場し、県大会に出場しました。ま
た秋季大会にも出場し県大会に出場
しました。

本年度は、新入生十六名を迎え、
全校五十三名の生徒数でスタートし
ました。

生徒たちは、仕事に勉学に全力で
励んでいます。

卒業生からの
おたより4

7年ぶりの帰郷

高校65回生 3組 石橋 優奈



京都高校を卒業する際に、
「回ってくるのはまだまだ先だ
し、まあいいかあ」と深く考
えずに引き受けた常磐会のク
ラス代表。あつという間に「ま
だまだ先」だったはずの協力
回生となっていました。現役
の京都生を目の前にするたび、
ついこの前のような気がして
いた高校時代から7年もの時
が経っていたことを思い知り
気が遠くなります。:

「令和」という新たな元号が
発表された昨年4月、広島で
の6年間にわたる学生生活を
終えた私は、7年前に志した
高校教員という立場で京都高
校に「グータンン」してきまし
た。

当時の私には、というより今
の私にとっても、甚だ信じが
たい事態です。持ち前の大き
な声でベクトルを伝えてくだ
さっていた先生に「石橋先生」
と呼ばれることも、またシャ
トルを迫る楽しさをこれまで
大きな声で伝えてくださった
先生の隣に並んで部活指導を
することにも、1年経った今
なお慣れません。何より、そ
んな偉大な先生方もひよっこ
教員である私も、生徒の前に
立てば等しく「先生」である
という事実には日々背筋が伸
びる思いです。教員1年生と
して再び京都高校で勉強を始
めた私ですが、あの頃数学の、
理科の、社会の先生だった方々
は、現在も「先生の先生」と
して色々なことを教えてくだ
さいます。

今この京都生を見てみると、
ふと自分たちの頃を思い出す
ことがあります。体育祭や文
化祭、修学旅行といった行事
の際に全力で思い出作りに励
むところは、きっとガラケー
世代の私たちの方が勝ってい
たでしょう。しかしながら、い
ざ3年間を振り返ってみると、
思い出は楽しかった行事だけ
に留まりません。眠たい目を
こすりながら受講した0限、
先生が叱る時のお決まりのフ
レーズ、全力練習の後でも騒
がしかった部室、教室に飾ら
れた2位ばかりの賞状。同級
生と会って話すのは、むしろ
そんな些細な日常ばかりです。

京都高校での3年間は、と
ても楽なものではありません
でした。しかし、自分自身が
苦しくも楽しく日々を走り抜
け、壁を乗り越える力を蓄え
たからこそ、生徒に語れる言
葉があります。それぞれの目
標に向かって努力する友人た
ちを見てきたからこそ、語り
かける言葉には力が漲ります。
京都高校で得たものすべてが
今の私を形作っているのだと、
教員になって一層強く実感し
ています。教員として、また
同窓生として母校に恩返し高
校での日々を駆け抜けていき
ます。



令和2年12月10日発行

「常磐会報発行協力金」協力者ご芳名

令和元年度常磐会報発行にあたってご協力いただいた皆さんのお名前です。ご協力誠にありがとうございました。今後とも引き続き全会員へ常磐会報が發送できますように何卒よろしくお願ひ申し上げます。

福岡県立京都高等学校同窓会 常磐会

令和2年10月31日現在 敬称は略させていただきます

- List of names and birth dates organized by school year (e.g., 昭和10年卒, 昭和11年卒, etc.).